

企業等と連携した実習・演習等

医療専門課程 救急救命士科

授業科目名	臨床実習Ⅰ・Ⅱ	授業時数	180時間
実施期間			
実習・演習等の目的及び概要	救急医療機関において、実際の医療現場での活動を通じて救急救命士の役割と業務を知ることが目的とする。		
企業等との連携の基本方針 (連携企業等の選定理由)	学生が学内で学習した内容を現場で確認し、現状の課題や気づきを得て、より高い目標を設定する機会が持てるようにする。また、医療人、社会人としての行動や対応、社会人として求められる基本的な能力、態度を自覚、意識することができる機会を持てるようにする。		
企業等との連携内容	救急救命センター等における24時間当直勤務時間帯において、救急医療の現場の見学および医行為の介助等について指導を受ける。実習内容については、臨地実習チェックリストによって定められた項目について説明・見学・実施を行うとともに、学生は実習レポートを記入する。実習担当教員は、実習先指導者からの評価表の内容を組み込んで評価を行う。		
学修成果の評価方法	チェックリストの遂行状況、実習レポート、実習指導者の評価表項目(態度、言葉遣い、身だしなみ・服装、積極性、知識・理解力)に加え、実習前教育、実習後教育のレポートを合算して評価を行う。100点満点中60点以上で単位を認定する。		
日程	実習・演習等の内容	実施場所	
実習開始2ヶ月前～	・臨床実習の目的を理解する ・病院における救急救命士の業務を理解する ・病院における身だしなみ、接遇を実践できるようにする	校内	
実習開始1週間前	・救急救命士としての基本的知識、技術を確認する ・実習先病院への理解を深める ・病院における身だしなみ、接遇を実践できるようにする	校内	
実習期間	・救急医療に関連した知識の応用と、救急救命処置に係わる技能を習得する ・医療現場の見学と医行為の介助等を通じて、診療の補助に対する理解を深める	実習先病院	
実習期間中の指導・支援	電話およびteamsを活用し個別の対応を行う	校内	
実習終了後1週間以内	実習日誌の指導者のコメント、評価を振り返り、学んだことと今後の課題を言語化する	校内	
実習終了後2週間以内	クラス内で実習報告会を実施し、それぞれの学びを共有化する	校内	
連携する企業等	東京女子医科大学附属足立医療センター・埼玉医科大学総合医療センター・東京医科歯科大学医学部附属病院・東京都済生会中央病院・聖路加国際病院		

(留意事項)

企業等と連携する授業科目(実施要項の3(3)の要件を満たすものに限り、)毎に作成すること。